

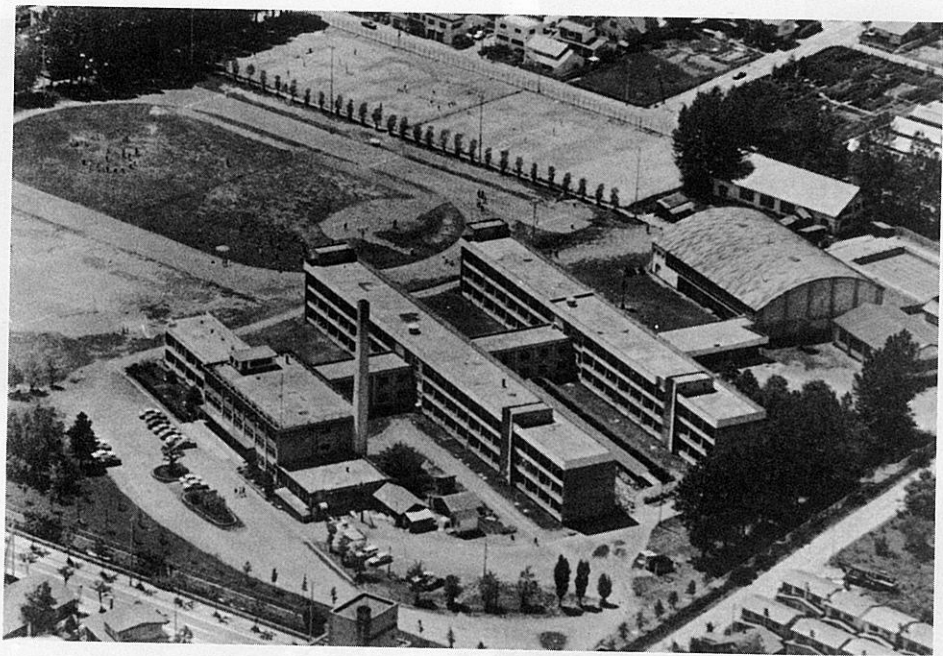
雪焰

創刊号



誌名・題字 平 題 謹 三氏 (第19代校長)

表紙デザイン 高 杉 学 志 (1年7組)



校歌

作詞 風巻景次郎
作曲 平井康三郎

一、空ひろし 空ひろし

希望は遠し 朋の群

力をあはせ うち建つる

文化の光 想ふべし

若く正しく 新しく

あ、行く雲に 創造の

調は高く こだませよ

二、雪しろし 雪しろし

生命は正し 朋の群

心はつよく りんとして

自律の園に 咲きにほへ

若く正しく 新しく

あ、吹く風に 肩あげて

平和の国を ひらかずや

三、風きよし 風きよし

北斗は高し 朋の群

神秘のなぞに つつましく

眸をつねに さしむけよ

若く正しく 新しく

あ、若人の まみ冴えて

叡智のかげを 宿さずや

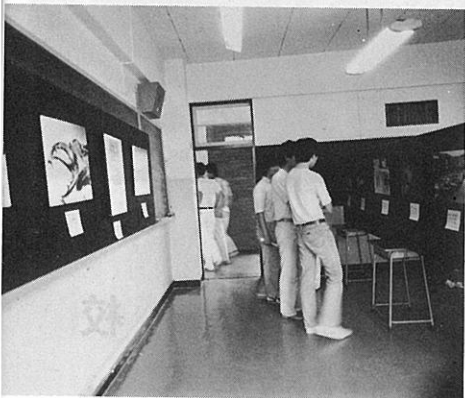
西高校



本日のゲスト：アルフィー

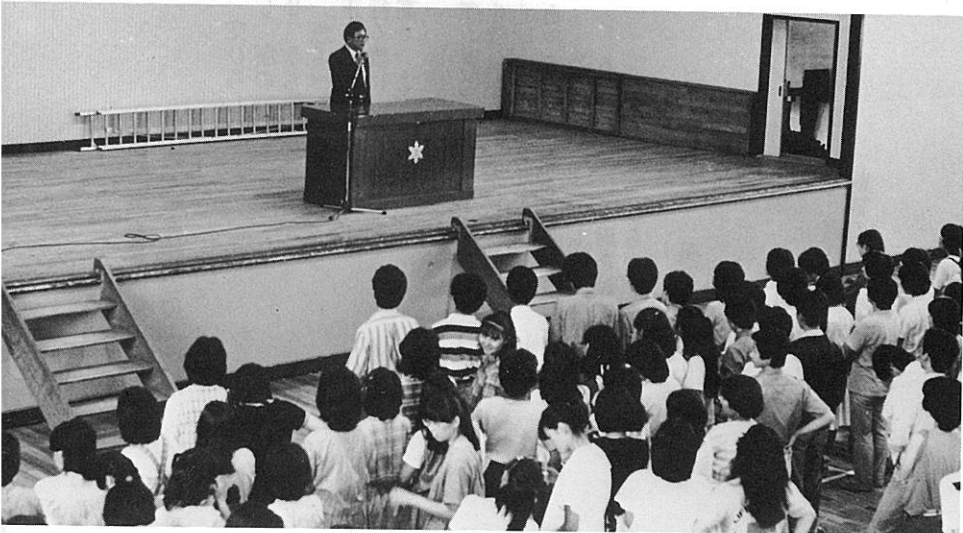


ステージ部門1位「ウエストサイドストーリー」



名作ぞろい

西 34th 高 祭



閉 会 式



指揮者はどこ?



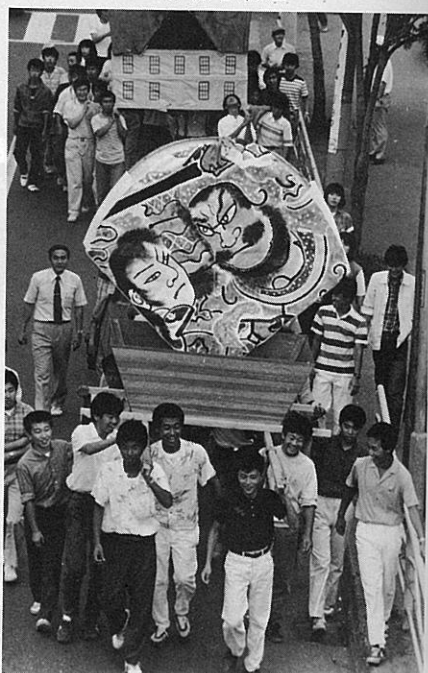
まねきねこ



ねぶた三年生版



準備のあいまに



ねぶた一年生版

体育大会
前期



スカッ! アレ?



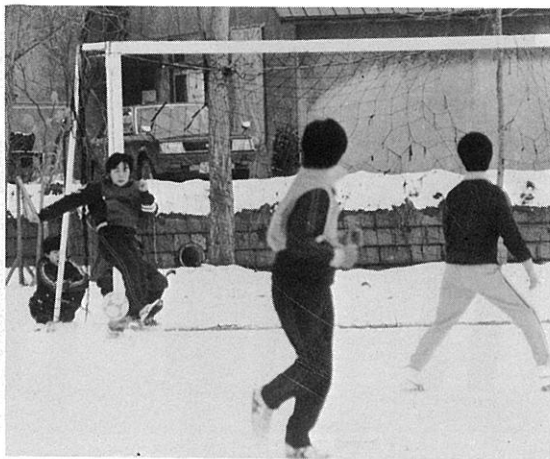
めざせロス!



「ユミ! ジュン! X攻撃ヨ!」

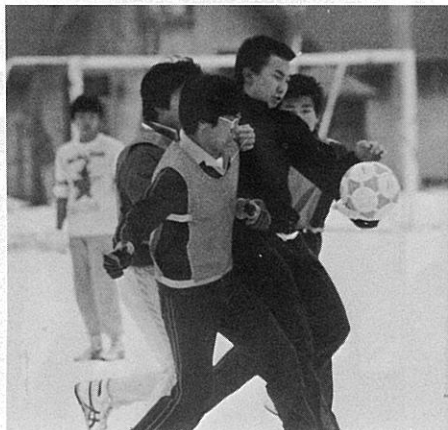


なんだ なんだ??



・・・どてっ!

体育大会
後期



競争率 4.0 倍



顔にシュートだ!



止まれば打てるのだけどな……



返せ! ぼくののだぞ!

運

動

会



いきごみの中に嫌怠感が....



大将決戦ッ!



ふっふっふ... おれがぬかしてやる



「ラムネ、飲ませてあげるね。」「うん。」

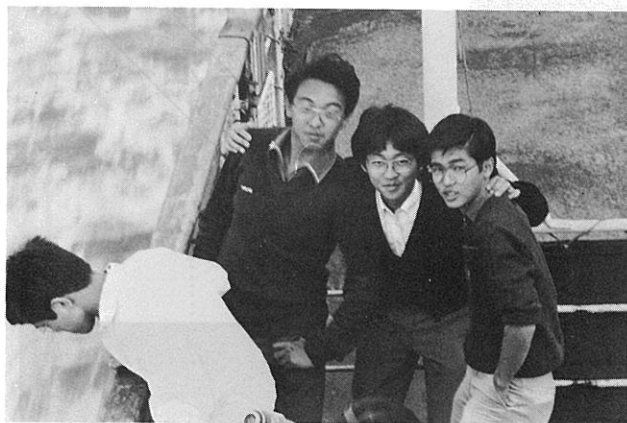


フアイト!



谷

大 仏 殿



あこがれの青函航路

見
学
旅
行



テーブルは戦場



1万円札夢殿



山頂にて— はい、ポーズ



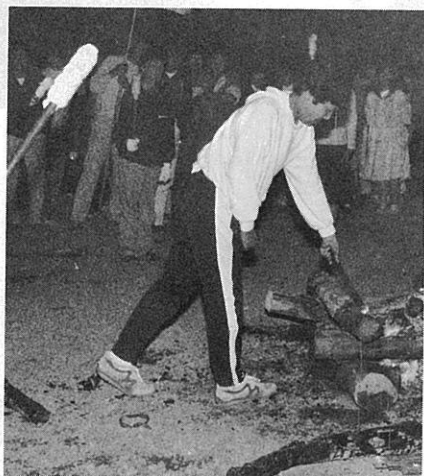
へあーら見てたのね



森の中の湖に〇〇を見た！



へお手々つないで～



焼きイモやけたかな

宿
泊
研
修

目次

発行に寄せて……………	学校長 平野 謹 三……………	10
執行部・各委員会紹介……………		12
二中・西高回想……………		18
各部・同好会・外局紹介……………		28
文芸・詩・紀行文……………		45
クラス紹介……………		53
編集後記……………		77

発行に寄せて



学校長 平野 謹 三

この度、生徒会誌が発刊されることになったことは、大変喜ばしいことである。西高に改まってから実に三十四年ぶりの創業となるようであるが、考えてみると、今まで生徒会誌のなかったことが、むしろ信じがたいことである。生みの苦しみに携わった人々、またそれを決した在校生諸君の英断にまず感謝と敬意を表したい。

しかし、今度の発刊が真の意味で創業と言えるのかどうかとなると、少々の疑問が残る。校史を辿ると、旧制二中時代に「其中会誌」なる校友誌のあったことが記されている。試みに六〇周年、七〇周年の両記念誌をひもといてみると、創立三年後の大正三年に創業号が発刊され、二十七号まで数えたことが知られる。「其中会」とは教師と生徒の親睦会のようなものであったらしいが、意図するところは、教師と生徒がごぞつて新生二中の独自の教育精神を創造することにあつたのではなからうか。それは「其中」という名の由来からも推測することができる。創業号の江原氏の小論文「其中とは何ぞ」によると、「論語・子張篇」の「博く学びて篤く志し、切に問うて近く思ふ。仁其中に在り。」に主として志を求めたものという。仁のことは言及するまでもあるまいが、何と高邁な理想ではないだろうか。現在の西高が輔仁会の精神を継承して磐石を誇るのであれば、今度の生徒会誌も何らかの形で先人の志を継ぐものでなければなるまい。「生徒会誌」と名や体を改めても、教育の場に伝統は生き続けるものであり、温故知新は普遍の実践哲理である。この冊子が、西高の伝統的教育精神である自由な校風の、もう一つの拠り所になるようにというのが、

第一義の願いである。

第二の意義はその記録性にある。記録が文化を蓄積し発展させるものであることは言うをまたない。本校では、文芸・体育の両面の活動において顕著な成果を収めている。が、その記録となると断片的という非難は免れ得ず、全貌を捉えることは難かしい。

昨夏の全道高校野球大会出場の際には、報道機関との対応において、野球部部史というようなものの必要性を感じたのは、私ひとりではあるまい。

今日の学校において、伝達・記録・報告という活動は、およそ教育機能を左右するほどに重要なファクターであると言われる。教育活動をいかに把握理解し、次の活動計画を生み出すかは、偏りに校内各組織からの適切な記録報告にかかわっている。さしずめ生徒会誌は生徒による詳細な活動報告であると言える。本校には、PTA広報紙「ひろば」や「西高新聞」の他、同窓会紙「輔仁会だより」などがあるが、それらに「新聞」以上の役割を期待するのは無理であろう。また年度ごとの学校要覧や何周年記念とかの記念誌もあるが、これも生徒の活動の詳細を伝えるものではない。結局生徒の活動を記録する形態としては、生徒会誌に勝るものはないのである。

第三の意義は、西高における自治活動の象徴として、広く愛される校友誌に育ってほしいということである。生徒会活動の健全な発展や部活動の活発化、そしてHR活動の充実も、これを中心にして可能になるであろう。

西高の自由の校風とは、各組織の恣意放縦な活動を言うのではない。西高には七〇年の歴史を刻んだ一つの立派な貌があることを忘れてはならないだろう。

教師生活の最後の年に、生徒会誌の発刊を記念することは、掉尾の幸福である。形見を残すような気もする。創業は易く守成は難しの理もあるが、「やることはやる、やるときはやる、やれるだけやる」という西高生の志操によって、営々と次代に引き継ぎ、そして大きく育てていってほしいものである。

史創る力の澄める芽白樺

一中・西高回想

自律と自治の伝統をかかげて

社会科教諭 奈良部健一

私が西高に赴任した昭和四十年、移転して三年目の校舎にはまだ新校舎の装いを感じさせるものがあり、そこで学ぶ生徒の気風のなかにも、戦後民主主義の潮流というか、自治の息吹を感じさせるものがありました。

毎週、月曜日の朝に開かれていたアッセンブリーは、生徒会の手で運営され、校長の挨拶のあと、生徒が選曲した「今月の歌」の合唱があり、合唱部のリードで全校生が作りあげるハーモニーのなかに、西高生という一つの連帯感が生れてくるのを覚えました。

そして、時にはホームルーム活動の交流やクラブ紹介、「制服について」「早めしについて」など生徒が関心をもっているテーマを設定しての意見発表など、生徒会の創意や努力がその運営ににじみ出ていました。

ロング・ホームルームの運営は、今と同じように、桜の季節には円山公園の花見、H Rに連続した授業を一時間頂戴しての三角山登山などもありましたが、「学区制の改正をどう思う」「ヴェトナム戦争について」「なぜ女子だけ家庭科を学ぶのか」などの講演会や討論会も開かれます。私も講師としていくつかの学級に招かれたこともあります。当時の生徒には、かなりの社会的関心と自分が学んでいる教育を広い視野から見つめよう、という意識はなかなか強いものがありました。

小学区制で入学してきた当時の生徒たちのなかには、西高を地元の学校、自分の学校と見る意識が強く、それだけに西高にたいする愛校心、誇りも根づよかったです。

修学旅行を引率した際、バスガイドが「みなさんの学校の校歌をきかせて下さい」というと、生徒は即座にパートごとに席をかわりあい、見事な四部合唱で校歌を歌いあげ、バスガイドが「こんなすばらしい校歌をきいたことはない」と感嘆の声をあげる一幕もありました。生

徒の方も「シテヤツタリ」という観がありましたが、全員が心をこめて校歌を歌い、[、]われら[、]を歌う姿のなかに彼らの学校への愛と誇りを見る思いがしました。

学校祭にむけてのクラスのとくりくみ、とくに行灯づくりには、各クラスがすさまじいエネルギーをそそいだものです。最近の行灯は小さく、箱型のものが多く見られますが、かつては竹の素材を生かした曲線やふくらみをもつものが多く、巨大な作品がつくられました。そのため電線にひっかかるなど障害も生れたために、高さ制限が厳しくなりましたが、それでも行進のときには、長い棒を持って電線押しあげる係を配置したものです。その作品には社会諷刺の鋭いものも見られました。

行事についても西高独自のものがありました。入学間もない四月の連休には、山岳部が中心となって新入生歓迎百松山登山が行われていました。事前のアッセンブリで、「西高に入ったら百松は必ず登る山」「晴れた日には羊蹄山や石狩湾、はるか行方にはヴェトナムの方向が見える」などと大いに煽動され、当日は、その気になった生徒百名近くが百松に登り、下山は用意したビニールを尻にひき豪快にすべり降る楽しみがありました。

伊達の海水浴、大雪の登山と分れて実施したサマー・キャンプも盛大に行われていました。六月のH・R遠足での空沼岳登山も西高らしい行事だったようです。

これらの盛んであった生徒会活動も、七〇年安保闘争を転機に様変りをしてきました。その全国的な動きのな

かで西高生徒会も大学の学生運動の影響を受け、「革マル」「ベ平連」などのセクト集団が、一般生徒の関心や要求と離れた過激な運動を展開しようとしたことから、かえって一般生徒の生徒会離れをひきおこし、その後の生徒会の沈滞、生徒会への無関心の原因をつくったように思います。

しかし、西高には、生徒の自律と自治に支えられた「自由の学園」の伝統があります。

学びがいのある楽しい学園づくりをめざして、西高生の自主活動が大きく発展することを心から願わずにはいられません。

耐乏の二中時代

(二中三期) 教頭 大野 勝敏

戦中、戦後にまたがって、旧校舎(北三条西十九丁目、現札幌女子高校のある所)で生徒として五年間を過ごしましたが、当時は、男子校で約九割が市内生であったように記憶しています。

とにかく、経済的にも物質的にも恵まれない耐乏の五年間で、食糧は勿論のこと、着るものなど、生活必需品はすべて配給の時代で継ぎのないものを着たり、はいたりしている者は皆無で、冬季間でも素足で下駄とか草履

で通学している者もいました。

春には、南の沢の学校林の山焼き、植林、秋には、学校林へ学校の一冬のたきつけ拾いに一日かけて出掛けたものです。昨年三十数年ぶりにこの学校林へ行ってみましたが、よくこんなに遠い所まで徒歩で、しかも諸用具やたきつけなどを背負ったりして往復したものだと言われました。

終戦の年の三年の秋までは、鉄道荷物の配達や丘珠の飛行場造り、そして、手不足の農家を助けるために石狩方面の農家に二人一組で泊り込んで、毎日午前五時頃から午後九時頃までの農作業など、勤労働員に駆り出されたものでした。

まさに勤労に明け暮れた二年半でしたが、この間も、勤労期間は自学自習、登校期間はきびしい授業が続けられ、これらを通して、強靱な気力や体力、自主性が培われたような気が致します。

戦後になっても、耐乏生活は変わりなく続きましたが、生徒達は種々の隘路に打ち勝って、学校生活を楽しましました。

上級生や学年・学級のリーダーを中心に、二中実行精神に徹し、物事に前向きに、自主的、自律的に取り組み、いたわり合い、励まし合って、お互いを高め合った生活は、今でも忘れられません。

四年生のとき、部活動が復活し、野球・スキー・サッカー・演劇など、めざましい活躍をしたように記憶して

います。

当時の教科書は、ザラ紙の粗悪なもので、教科書のない科目もあり、生徒は一時間、一時間の授業を大切にするとともに、市内の古本屋で手あかに汚れた参考書を探し求めて勉強しました。

また、電力不足のため、特に電力を消費する夜間に、ろうそく送電とか線香送電がなされ、部屋の中の様子がようやく判別できる程度の明るさで、本など全く読めないため、簡易カーバイトランプを購入し、その明りをたよりに勉強したのもなつかしい思い出です。

とにかく、先生にとっても生徒にとっても耐乏の二字に尽きる時代でしたが、諸先生の愛情と信頼に根ざした、きびしい指導のもと力強い歩みを続けました。

昨年暮、輔仁会（本校同窓会）の会合に出席した折、三十数年ぶりにお会いした恩師が「貧困な環境に懸命に働きかけ、適応し、自己実現をはかろうと努力したのが、当時の二中生であった。」と言っておられました。

今の西高生の皆さんは、恵まれた豊かな社会の中で育つて来た人が多いと思いますが、この環境に感謝し、甘えることなく、自らにきびしく、心豊かな人間形成に努め、それぞれの進路設計に基づき、その実現に日々努力して欲しいと思います。

二 中学生の頃

二 中二〇期(S11卒) 木村 隆一

昭和六年四月入校、五年間学んだ二中。それは、北三条西十九丁、二十丁目、三条から北五条へと続く地にありました。三条通りに面して校舎が並び、北側はグラランド。西端、二十丁目通りに沿って、ポプラの大木が列を作り、枝葉は伸びて夏の木陰と涼風を与え、冬は寒風にうなりを立てていました。

学校の西、二十丁目から二十三丁目辺までは住宅がありました。その以西は琴似街道を狭んで畑地が続き、冬のスキー授業時には三角山の南斜面まで、スキーを履いたままで往復することができたほどです。

グラランドの北側には、北五条通に面して住宅が向い合っておりましたが、五条以北は人家よりも草場が多くなり、軍事教練の授業で走り廻れる格好の場所でした。汽車の通るのが良く見え、函館本線の北は緑の大地が続いておりました。南一条通り、北五条通りを二十丁目通りで横に結び、電車があった頃です。

小学校を卒業して入校した一年生には、五年生は大人のように大きく感じました。その大人のような五年生のリーダーが、黄色の応援団員服でどなり廻る応援歌練習では、猛獣の前で旗を振る兎と同じで、緊張に震えなが

ら、潰れた喉から声を出して歌ったものです。

先生始め、全員が男ばかりの中学校、野蠻が男らしさの象徴でもありました。

通学は、学帽、学生服、下げ鞆、編上靴、雨雪時にはマントの姿です。通学距離が約二キロ以内の者は、乗り物使用が許されず歩くだけ。白線二本の帽子が新入生にはうれしく、大人になった気持を抱かせましたが、上級生は別で、破れかかった帽子で古さを示威したのです。

教科書は同じものが使用されたので、上級生から譲り受けものが多く、又そのような本には、先生が教えた要点が書き込まれていて勉強するのに役立つものでした。

映画館、喫茶店等は立ち入り禁止。日曜日には、夏の野山・川遊び、冬のスキー、家での読書しかすることがなかった時代。

よく行ったのが「お焼き屋」。学校の帰り空いた腹に、焼き立てのお焼きを熱い番茶でつめ込み、満足感を味わったのです。その頃のお焼きは、十銭に十個平均(形は今川焼きと同じ)で、中の餡も多く三つも食べると空腹を満たすことができた。学校の北、グラランドを抜けた電車通りにもお焼き屋があり、二中生で繁昌しました。中学生の食べるものは、駄菓子やお焼きで、うぐいす餅、桜餅が売り出されると春を感じたものです。

秋の終りの兎狩り、夜中に家を出て登校し、暗闇の中で列を作り、琴似街道を歩きます。漸く明るくなる頃軽

川に到着、道路から海岸へ続く草原に入る。五年生は網を張って草に身を隠し、下級生は勢子で、遠くから輪を縮めつつ網へと追い立てます。生い茂った草、小さな權木を進む、兎が飛び出すと大騒ぎ。

三回の追い込みで獲物は五羽位でした。でも、終わった後大鍋一杯の豚汁と握り飯は、眠さと疲れを忘れ去る楽しい味でした。

思いつくものとして寒稽古があります。

一年生から剣柔道どちらかを週一回学びます。一月、寒入りとともに始まります。朝、雪明りの道を登校し、冷たい道場での稽古、吹雪のときは道場内に吹き込み、除雪してから始めることもあります。毎朝の一時間、冷えた足は感覚さえなく、修業そのものでした。

二中は一中に比らば軟派だと云われましたが、伝統的に浪漫的な風潮と、ゆったりとした気風がありました。

先生方の授業、生活指導は厳しくても、学校生活は楽しいものでした。個性豊かな先生が多く、先輩から伝えられた先生の渾名がよくその人柄を表徴し、愛称に親密さと、尊敬を持つことができました。一学年二百人、四年级編成での五年間には、互いに心が通じ、友人として話し合えるのも、二中の気風によるものと思います。

当時、四年終了で北大予科、旧制高校、陸海軍士官学に進む者がありました。殆んどは最終学年を経ての進学で、有名大学への進学率や就職者数を比較対象されることもなく、各自が進むべき道を選び、勉強したもので

す。

学校では、五年生に対して進学・就職コース別の授業を週二時間実施し、受験組では英数国の入試問題集がテキストでした。しかし、それ以上の指導はないので、各自が努力するほかなく、三年・四年位からこつこつと勉強していた者もありましたが、学校の中ではクラブ活動等に励み、全員が中学校生活を楽しんでいました。

二中の卒業生の職業歴が中広いことは、特有の校風に基くものではないかと思えます。その二中五年間は、少青年期の私にとって豊かな心の生活を過す場であったと思っております。

道、遙か

(二中二期) 加藤 嘉徳

朝、大学へ着いて一服していると机上の電話が鳴った。札幌の渡部睦子さんからの長距離電話だった。西高誌に投稿してほしいという原稿依頼で、懐かしさの余り即座に承諾した。一月十四日土曜日のことである。

スキー通学、スキー体操、スキー教練そしてスキー遠足(行事)、兎狩り、寒稽古、陸軍記念日の模擬戦など多彩な学校行事もさることながら、授業における個性豊かな先生方の印象の方がより強烈な記憶となつて甦つて

くるのは何故だろうか。

振り返ってみて必ずしも真面目人間でもなかった私なのに、十代の感性はさほどに人間としての師の姿に興味と関心を持っていたに違いない。それにもまして、選抜された生徒集団にはやはり無意識の裡に潜在的な探求指向があつたのだろうと思う。

長身で姿勢の正しい故諸留源助先生の漢文の時間の音吐朗々たる孝経の音読と教壇の下に小犬を閉じ込めての大騒動。

強度の眼鏡をかけた真面目一筋の故潮田隆文先生の英訳の一分間テストへの挑戦といくばくかのカンニング。泉のように湧き出てくるユーモアのシンク・タンクであつた故和田敏恵先生の英作文の時間で生徒への揶揄。

本来化学であるべき故笹三津彦先生の音楽まがいの全くリベラルな授業と現在なお化学に無知な私。故高山豊太郎先生の跳ね腰の体罰入りの厳しい数学の授業。陸軍少尉向井一義先生のきびきびした教練の授業と油まみれになつての銃器の手入れ。故藤原又蔵六段のしわがれた気分の剣道の授業と真剣演技。

そして今なお健在でおられる今井七郎先生の静謐で品位のある国語の授業と、その板書の素晴らしい筆跡。

学校行事についても、限らない程の思い出が沢山あるのだが今日の学校教育についての論議がかまびすしい世相にあって、最も基本となる授業の何たるかを考えてみたいと思つてあえてその場面描写を試みてみた。字数制

限にあってその寸描にしか過ぎないのだが。

そして私の心に刻みこまれている札幌二中の校歌の一節、私にとつては大きな支えであつた。曰く、「石狩平野末遠く、雲に続きて大陸の姿を見する雄々しさや、その気を含み粹を吐き新の空に躍り立つ、若き身は何の幸ぞ」

奇しくも渡部睦子さんも、最初の札幌高女の教壇で数学の授業を手ほどきした一人であるようなのであるが……。

最近、通勤電車の中で東山魁夷の「唐招提寺への道」という本を読んでいる。その中で第七章「道遙か」の冒頭に「時が過ぎ去つていくのでは無く、私たちが過ぎ去つて行くのである。」というくだりがある。

変哲もないこの一文が、思い出を綴っている私の脳裡をふとよぎっていくのである。

(武蔵大学教職課程)

草創期の西高

西高三期 川嶋 至

私は昭和二十八年卒業の西高三期生である。三期というものの、最初から西高に入学し、西高だけで高校教育を受けたという意味では、私たちが第一回生である。つ

まり、新制中学にはじまる六・三制のトップバッターをつとめた年代で、戦後民主主義教育の洗礼をたっぷり受けたわけだ。当時輸入したての民主主義は、尖鋭で過激なところもあったが、とにかく新鮮で純粋であった。

今省みても、当時の西高ほど、活気と自由の空気に満ち満ちた場所に身を置いたことはない。活気の源は、なんといいても若い先生方だった。年配の先生たちは、敗戦という価値観の一大変革期にぶつかった後遺症のせい、か、発言にとまどいがあったように記憶する。若い先生方は、私たちに新しい思想を情熱的にそそぎこんだ。国語の先生は、明治の黎明期の詩人たちの新しい詩によせる想いを火のように語った。歴史の先生は、天皇制の本質をえぐり、このデスポットの蔑称を噛んで吐きすてるように口にした。学校で学んだことを家に帰って口にする、旧弊な親は顔をしかめたが、若い先生たちの話は、私たちにはこよなく魅力的で、印象が強烈であった。

こんなこともあった。漢字が粗末に扱われはじめた時代で、漢文は一学年でわずか一時間、二年から選択で希望者だけ受講できるはずだったが、実際には学校側の都合で開講されなかった。教頭先生に開催を申し入れたが許されなかったため、漢文好きの男子生徒が集まり、選択科目に家庭科、それも「育児」を選択することにした。男女同権になったありがたさで、男子の育児選択もルールには反しなかったのである。家庭科の女の先生の困惑のほどは想像に余りある。すぐ漢文が開講され、おかげ

で「新唐詩選」の名講義を拝聴する幸運に恵まれた。私たちの、たぶんかなり無理な要求が受け入れられたのも、若い先生方の意見が、学校運営によく反映されたからではなかったらうか。

いまひとつ活気の因は、自由な生徒会活動にあったと思う。クラブ活動が盛んで、部に所属していないくても、クラス対抗の球技大会など全員参加で燃えたものだった。大学受験を気にして生徒会をサボルような者も少なかった。本当の友情が芽生え、現在にも続く真の友人を得たのも、高校時代のことである。私自身三年間委員として評議会に出ずっぱりだったし、一方新聞局員として校内をとびまわっていた。執行部には加わらなかったが、それは執行委員長選挙に私の仲間陣営が二度も敗れたせいである。応援演説やビラ配りはもちろん、部費の増額をちらつかせながら票のとりまとめなどもやった。私にとつては変に背のびした政治づいた一時期であったが、こんなことが許されたのも、学校が開放的空気に包まれていたからであろう。

充実し楽しく希望に満ちた高校生活を過ごせた私は幸せであった。

機関誌発行によせて

社会科教諭 橋本 順子

「前むきの姿勢」がモットーの私にとって、昔はよかつた”式の話は望むところではない。西高は今が一番よいのです。将来はもっとよくなるにちがいない。ロッカーがおかれた。敷地が舗装された。そして何よりも今こうしてはじめて生徒会の機関誌が発行されようとしている。生徒会の沈滞がいわゆるようになって久しいが、以前だって首なしの経験がなかったわけではない。問題は、西高が、とくにその生徒会が、先輩たちの築きあげたものをどう継承し、どう発展させていくかにある。世間がいう、校内暴力に代表されるような教育の荒廃が西高生の間にも及んでいるとするならば、持前の批判精神を以てその現実の姿をとらえ、問題点をさぐりあて、解決にむかつてがんばってみればよいのだ。その時に先輩たちのたどった素晴らしい足跡が、昔はよかつた”式にでなく皆の参考になるにちがいない。

年に数回の、騒然たるアセンブリーに臨む度に、私には一つの情景が脳裏にうかぶ。私がこの学校に赴任した頃のアセンブリーの情景だ。その頃は毎週それは行われた。それも月曜日の朝一時間目がそれに当てられていた。それはまず合唱部のリーダーT君の指揮する校歌の合唱

で始まった。一番から二番そして三番まで、誰も生徒手帳なんぞ開かないで、そして皆がごく自然にうたっていた。その後国語科のS先生が壇に立たれた。先生の話は先生がみられた映画「十二人の怒れる男」の感想だった。少しも気どらず、いささかの説教くささもない先生の話を通じて皆は民主主義の尊さを感じとったものだ。話は勿論体育館のどこにいたつてもらさずきとることができた。生徒が意見発表することもおおかつた。制帽をかぶることの無意味さについて話してた子がいたのを思い出す。アセンブリーは大てい二、三十分で終つた。すると授業の開始まで二、三十分時間があるわけだが、それで気分が乱れるということもなく一週間の学校生活は始まっていった。

今と昔の二つのアセンブリーの情景をくらべてみて思う。どうしてこんなに変わってしまったのだろう、と。小人の私には明快な答は見出せない。ただ考えられることは、回答を出す努力の糸口はある、ということだ。西高生徒会小史」という新書版の冊子があるのをご存じだろうか。古い、非常に古い、私がこの学校にくる以前にすでに発行されていたものだ。そこには西高生徒会発足より5年間の歩みが語られている。受験の問題が、学校祭の問題が、平和の問題が、そして女生徒のあり方の問題が生徒会の問題としてとりあげられ、とりくまれた。行間から伝わってくる熱っぽいムードを感じると共に、これを小冊子にまとめあげた編集委員会の活動に驚かされる。

ところで西高生徒会は、その後どう歩んできたのだろうか。残念ながら生徒会自身はそれを語ってはいない。「西高新聞」が、そして先生方が編集された「五十年誌」「六十年誌」「七十年誌」が断片的に、あるいはある程度系統的に伝えている。

ここで私は思う。歴史を学ぶことは、今の問題点を明らかにし、将来の展望をきりひろくことにつながる、と。そして今回の発行を初回として今後続刊されるであろう機関誌は、そのための機会と場となりうるのだと。

ここで、この場で、アセンブリー問題が、ホームルーム問題が、学校祭問題がとりあげられ、生徒会発足以来の足どりを確かめ、鋭く現状分析に迫り、そしてこれら諸問題を総合した生徒会そのものの歴史が浮きばりにされていったら……。発行する立場にはないものにあるまじき発言になりそうなのでこのあたりでやめる。

いづれにしても、今の西高が一番いい西高だ、といえそうな希望をこの機関誌の発刊に感じるのだ。皆さんの努力と活動の成功を祈ってやまない。

「藤は何科の木でしたっけ？」

(西高第二十四期) 荒谷 玲子

言い出しつべのクラス委員の尻馬に乗り、調子に乗っ

たのがそもそもその間違い。それにしても、えーい、この根性無し！と自分をのしりながら、じりじり照りつける陽差しを避け、ひとり道端の木陰で二年九組の一行を待っていた。

西高恒例、六月の自由遠足。クラス単位で好きな場所、好きな交通手段を選ぶ。我が藤山学級は、往年の健歩遠足を再現すべく、西高へ黄金温泉間二十数キロに挑むことになり有志六、七人が本番二日前の日曜日に下見を行った。この下見の際、人一倍皮が薄く柔らかな足の裏に沢山のみめを作った私は、遠足当日、行路半ばにしてリタイアしてしまったのである。靴の中でまめが破れ、やがて足が麻痺してきた。このまま歩き続けると両足とも腐り落ちてしまう、と判断した私は「のちほど簾舞の療養所の前で合流します」と言い置いて、ひとりだけバスで先回りしたわけ。木陰にへたりこみ、情けない自分を持って余しながら、ぼんやり級友たちを待つ。うちひしがれて聞く蟬の声は、もの凄い。簾舞の療養所は丘の上にある。病棟から坂を下ったところに前庭があり、手入れされた芝生とライラックの花。ナナカマドの木陰には、老齡の患者とその奥さんらしい二人連れが並んで膝をかかえている。ほんの時たま風が木の葉を鳴らすだけで、あとは蟬の声。あふれるような緑。

誰かの声があった。顔を上げると少し離れた日向に老人がひとり、立っている。私に何か尋ねている。しかし、視線は私の方でない。木陰からヨロヨロ這い出して老人

のそばに立つ。「あれは、ふじですか?」。老人の視線の先に藤の木がある。棚にしつらえてはいないが、見事な花房を下げている。私が居た場所からは、木にさえぎられて見えなかったのだ。

老人は寝巻姿で、頭にタオルを巻き、杖をついている。「ええ、ふじですよ、あれは」。私は答えたが、老人は何度も練り返して尋ねる。その言葉は、私に問うているのではない。老人と私は並んで立ったままうす紫いろの花を眺めていた。

少したつて「ライラックも満開ですね」と老人が口を開けた。それからタオルのターバンをつけた老人と私は、何か花のことについて話したように思う。話といつてもほんの二言三言だが、やがてその老人は「きょうはじめて、ここまで下りてきた」とつぶやくと、私の方を向いて「ありがとう」と言うのだ。私は戸惑って「あ、どうも」とか、答えたような気がする。

ターバンの老人は丘の上の病棟に帰って行った。私は先ほどの場所、道が見通せる木陰に戻った。ボンヤリしていた。何を考えていたか覚えていない。蟬の声が容赦なかった。

ずいぶん時間がたつて、目を上げるとあの老人の姿が視野に残っていた。意外だった。もうとつくに坂を登り切ったものと思っていたのに、まだやつと半分ほど。杖にすがり、丘の上へ、というより目の前の地面に向かって、ひと足ひと足運んでいる。(きょうはじめて、こ

まで下りてきた。……)

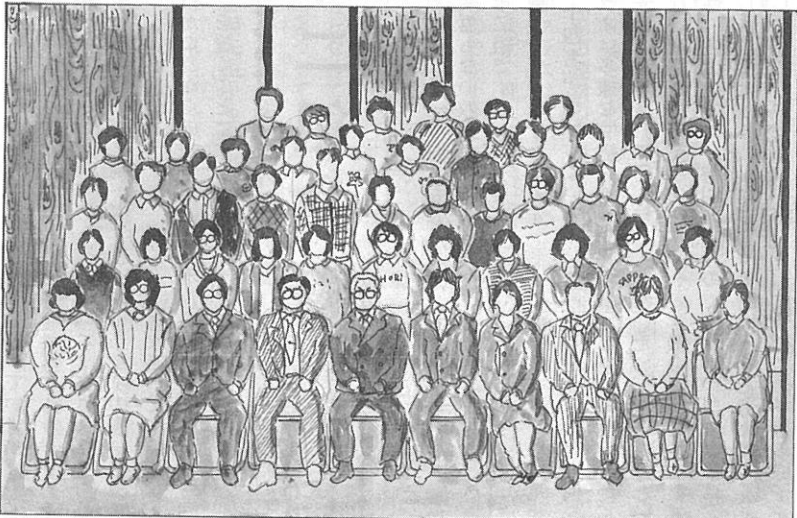
坂のいちばん下から、背の高い男が現われた。四十歳前後。まるでエスカレーターを高速にしたみたいに坂を走るする登っていく。紺色のスポーツシャツが、見る間に白い寝巻を追い越した。私は、思わず「あッ」と声を出してしまった。

ナナカマドの下の老婦人が立ち上がった。病人のほうはかなり年を取っていた。ひどく痩せている。奥さん(とても小さなひと!)が持っていた肩掛けを掛けてやり、両手で身体を支えてやる。二人もつれように歩いていく。それからほどなく、私の待っていた一行が現われた。

私が途中、バスで追い越してきた先生とクラスメートたち。簾舞から黄金湯までは、級友たちの助けを借り、なんとか到達することができた。

さて、遠足ののち約一週間、私の両足は靴をはくのも困難なほど腫れ上がっていたが、幸い腐り落ちることもなく治癒し、まめの跡も残らなかった。そして11年以上たった今、ハイヒールでアスファルトの上を歩く私の足指や踵にはたこが出来ている。足の裏の皮膚は年とともにますます厚く、固くなり、やがて幼い頃よくからかった「ザラザラで、まるで紙ヤスリみたい」な母の足に似てくるだろう。

— クラス紹介 —



昭和58年度 札幌西高等学校

年 組

*Kai
Jama*

三年一組

その時、僕は深い眠りの中にいた。ふと目を覚ますと、目の前の黒板に僕の名前が書いてある。その隣には「代表」の文字が…。

と言うわけで、かなりいい加減に決まった代表が、この僕である。このクラスを端的に物語っている事件であった。万事がこんな調子で、何をすることも面倒が起こる。タイプの違い人間ばかりで、多分に協調性に欠けているが、個性^レにかけては、このクラスは確実に優っている。欠点をあげればきりが無いが美点をあげてもきりが無い。そんなクラスである。

HR代表 藤沢 孝史

一人一言

なあーんて読むのかなあー。みんなで考えましょう。名前負けしてます。

真珠

なんといつてもマミとババとたかし先生と3年間一緒だったのは痛恨だった。ともちゃん田舎だってバカにされたけど大浜近いから夏になったらスクーターで行くんだ！ まみ

大学PASSしてもしなくても春休みLIVEやつからみんなチケット買って！ あらしへき地とばかにされた大麻にたくましく生きる私は不死身だ！ なんか文句あつたか？ ババ最後の放送コンクール同点で次点だったくやしきは忘れませんーNHK様… ⑥まきこ

ALL MY LOVING”を歌い出し
F U U / by 画||マッカードー

夏^レの海、夕陽をあびながらブッチギタおれのX-100誰か買ってくれ!! ひでき

将来運良く結婚した人は子供を田丸音楽教室へかよわせて下さい。格安です。 たまっこ

GONE TO BE WILD!! 潤

運動会で2回もころんで恥かしかつた。 平森

それはそれとして、リンカーン夫人、お芝居

の方はいかがでしたか?。 田中

これがそのまま死顔になる。 こやし

HASSAMU FOR EVER まこ

まこちゃん、卒業してもアップルバイ作って

ちょうだいね♥ しょうこ

南玄関の前がアスファルトになっちゃってさ

みしいな。土の方がよかつたのに。 BUKIE

おれは、西高のホームラン王だぞ!! 満塁の

併殺が痛かつた……。 クロ子のAZUMA

手稲山麓から通い続けた3年間、もう思い残

すことはありません…… ことさん

西高生になって私は変わりました。3年前のあの私にはもう戻れないよ……ね!? NON

ただ一言「たるかつた。」 敷地

雨にも負けず、風にも負けず、こうして毎日

通いつめた3年間。 尾澤

ほとんどの授業がだるくて……。 松井君

Lay all your love on me!

あーあ、つまんなかつた! みい

私もこれからは大人の魅力で……。 きゃあ♥

ん!? そんなに笑わないで下さい。 ラビ☆佳子

みちこ好きだパーンチ! ⑧の⑨に⑩も⑪も

みーんな大好きサ♥ by BaBae。 ●

すーぱーかりふらじりすていっくえくすびあ

りどーしやす。 はらぐちのりこ

花が咲いたよこの世の花が 宵の晴れ野に見

渡す限り。 つかだ けいこ

人間以外のものたちにももつと優しくしてく

ださい。 えだ ひろこ

わが手をとりし友ありき 友はみな彼方に去

りぬ TOYO

食べたくて、食べても食べても食べたくて、

めかたふえても、花より団子……♥——⑫——

将来、みんなといっしょに飲みに行くのが、

今からとつても楽しみだなあー! モロンコ

あなただけのやさしさとして、かえらぬ想い
出としてーありがとう みんな！ KOB
ただひたすら無欠席をめざした三年間だっ
た。

涌井

本当の青春はこれからだ

高橋正剛

高校生とは爆発だ！わかるか？ 三年間これ
が言いたかった。 おれは吉田

たろーくんは、FRAT VACKERです。

いしまる

リターンマッチは勝ちたいな

こさき

『シベリアからも、見えなかった……』
光る尾を引く流星群……』

いのまた

三年間背がのびなかったぜ!! 硬派あおやぎ

『三日後に僕は神の兵隊に銃殺されるんだ』

あいざわ

——レイモン・ラディゲ——
Someday somewhere いつか どこかで
きこ……

寒くたって行かなきゃならない長い道

——みかりんでしたあ

ベンチに座るには寒すぎた。

Book

三年二組

ークラス紹介（ぐちの紹介）

いやあ、まったく失敗だったよなあ。原稿
の枚数を数えまちがえて、「一人あたり二十
字を考えて来て下さい。」なんて言っちゃつ
てあとで数えてみたら、一人あたり四十字程
書いてもらうべきだったんだよなあ、まあ自
分でやったミスだから、みんなに「おとしま
えつける。」なんて言われて後にも引けない
し、もっと早く気がつくべきだったなあ。諦
めて書いているけど、あと千字も残っている
しなあ、クラスの紹介なんてすぐにネタがな
くなるだろうし。全くホームルーム代表なん
で、因果な商売だと思つて、そろそろ本題のク
ラス紹介を書こうと思つて、今考えてみると、
うちのクラスー三年二組ーはとにかく死んで
ましたね。特に男子と女子との協調性では小
学校の高学年並みでしたねえ。男子には女子
のことは良くわからないが、男子なら男子同
士女子なら女子同士で集まってしまう傾向が
あったと思う。私が男子の一人だから言うん

じやないが、「女のくせに。」と思わせる場面
もしばしばあった。こういうのは偏見でいけ
ないけど、男子も男子で、女子と協調しよう
とする態度に欠けていたかもしれないし。要
するに子供なんですよ。中には、しっかりし
た人もいたようですが。西高が進学校だから
学業を優先的に考えてでもいたんでしよう
か？ 打策としては、グループ編成を考えて
いましたが、ちよつと無理。こんなことを、
真剣に考えている自分の方が子供だったりし
て。でも、後になって笑い話にでもなれば、
それもいい思い出でしょう。では最後にひと
言。二組は、とにかく暗いクラスでした。あ
んまり暗いので、停電になって電気が消えて
いるのかと思つたほどです。まただれかがつ
まらないギャグをいうと、嘲笑する人もなく、
あたりを重々しい空気が支配していました。
あまりの重々しさに死者まで出たほどです。
以上のことは全てフィクションでした。わか
り切った事を書いて失礼しました。又、私の
手違いでこんな内容の薄いものにしてしまっ
たことを、深くお詫び申し上げます。

一人一言

苦しくたって悲しくたって

メイコ

コートの中では平気なの…。 ゆきらん

ボールがうなると胸がはずむわ ちよみ

RECEIVE・TOSS・SPIKE ④⑤⑦

だけど女の子だもん涙がでちゃう ④⑤⑦

涙も汗も若いFIGHTでえー。

大空に遠く叫びたいノ アタックNo.1 ④⑤⑦

○長崎みかん○ さゆり

●山形りんご● あや

ママ、朝食にニシンの董製食^{くんせい}べたいな♥ ケケ

パパ、夕食にサバのミン煮食^{くんせい}べたいな♥ K子

なんたつとしちゃんが一番です♥ のりこ

なんたつて中畑キヨシが一番です。 うんこば

なんたつて織田信長様が一番です。 よこたん

独り言ーぐちばっかり。

うちのクラスはなんてつたつて、ホームルー

ム代表でもつてるようなもんだぜノ 学校は

毎日来てるし。皆勤賞ものだもんなあ。

これは、みんなの意見ではないでしょうか。

カリブ海のロメオ 伊達勇

あなたも「エクボ」・資生堂でした。 小嶋

上を向いて鼻の穴をみせるのが好きだノ 三瀬

サナギマンはよわい。 薬師丸しろ子

覚醒剤やめますか 大屋政子とやりますか 坂東

孤独な群集、生き急ぐ現代の若者の美体だろ

うかノ 孤独を愛する少年

テメーおごつてやんねえぞノ 三倍満男!!

中野 昨日の敵は、今日のホモ。 お前のせい

だ!! よしき

太田のどてっ腹に風穴をあける 五十嵐

ネコのおなかはあったかい ダツチ小川

ボールとヒモを使った新体操が好きだ。 団長

あなたとのみたいレモンティー 三上

ねえ、サンタさんていつ来るの? あつし

ドラハッパつて何の略か知ってますか H

立花が『20字を書き直せ!』と僕を脅迫した。

高木

われら 青春!!

飛びだせ 青春!!

おくだでした 加藤です。

てめえ、イカやるんじやねえ 小国

気前がよおーくて二枚目どえーっ MARU

ちよいとヤクザな遠山ざくらあー RIKA

いつか、ハイウェイで。ピース。 TAKA

美しい日々が、切れ切れにうつる MIKA

なにいつてんのおみかあー☆

全て紙に包んでくずかごへお捨て下さい。

がらすのちえねえしよん

三年三組

一人一言

思いたつたら、とびたつのさ、重い荷物は、
 きのうにすてて… 誰の歌かわかる人いる?
 時が解決してくれるなんてうそ。時間をかけ
 ても解決するのはやっぱり自分なのです。環
 一節ごとに繰返される 聞こえぬほどのルフ
 ランが 私の中にいつまでも流れてる 雅恵
 どんな小さな物語でも、自分の人生の中では
 誰もがみな主人公 石黒恵美子
 ぞっこん∞——ばれーぼーる・F M北海道・
 南瓜・英語(?)・あはは・・・ノ 亮子
 リボンをほごいたら、金の細いネックレス
 今日が誕生日と覚えて誘ったのね 由美子
 急いで旅立ってジャック。ベイビー、逃げるん
 だノ奴らだけにはつかまらない。 大滝史子
 去って行く季節よ、さようなら、同じほど甘
 やかに、もう一度来ておくれ ー理恵ー
 出会いは風のように、別れは雨のように、全
 てのことあるままに流れて行くもの… 弘美

卒業したら長電話やめますノ御迷惑おかけした方達許してね☆ ④卒業 木村祐子 君よ愛するひとを守り給え大きく手を拡げて子供たちを抱き給え オフコース万才! くま お姉さんはね、顔が大きいんだよ。

三年三組大顔連名誉会長 小嶋亜希子

春色の汽車に乗って海に連れて行ってよ。煙草の匂のシャツにそつとよりそうから…。 志保

……沈黙は美德 堰代 直美

ねえお願い広島、優勝くらい いじやないの今年もがんばれ広島カープ背番号2ノ つぐみ 走ってください。光る汗流しながら立ちどまらず。走ってください。あなたらしく… ぼち

ふり返らずこの道果てるまで歩いてゆきます。はれー部がんばってね♥ サリーこと順子

ターザンが教えてくれた。なみだは人間の作る一番美しい泉です。

あなたはわたしの青春そのもの☆ PEKOちゃんあなたを忘れはしないけど… けいこ

人魚姫が教えてくれた……なみだは人間の作る一番小さな海です。 夜空絵

『つかれた。』 森池明美 森木結香

私、タコ特級です。 新聞少年のみなさんごころうさまノ 石道真哉 真悟さーん、このままずっとあなたの瞳の中

にすんでいたいの!

こんばんはノラッシャー菊田ですノ 菊田真悟 火野正平みたいになりたい。 岸田大輔

てめー、このやろーノ誰か俺を殺してくれノばかやろー、死んでやるノ デビル黒沢政希

くろさわのとなりだら書く気しねえノ 古林寛輔 会員募集中ノ 仁の話にジーンとするとおしまいだ。 D・G・M大顔連会長 小松 仁

東南西北白発中…… 國土無雙

プリーティーけんまんこと…佐々木健一郎 一度や二度の失敗が何だ。長島をみなら王。

誦高美之

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。(ご自由に想像してください)

高田雅史 高田泰宏

俺のターゲットは、篠塚だノ

Sty.な篠塚、羽藤大

私ははつきりいつて限度なしです。

過激な三浦千秋

ウ、院の御所の警固に採用され、院政の武力となった武士を何というか。 三瀬博之

俺のライバルはトウシヨウボーイだ。

天皇賞はもらったせ!

三品喜孝

この木はとつてもぼろい。 ひでー木 三春ひでき

村上さんちも、古林さんちもマックロード

みんなで〇〇ビデオを見よう。 村上 悟

ぶつぶつぶつぶつぶつぶつぶつぶつぶつぶつぶつぶつぶつぶつぶつぶ…。 森谷保彦

羽藤、おれは男だ。おまえが女役になれ。

山田友厚



三年四組

三年目の浮気

窓の外では、道路の舗装をしているのが見える。もう十二月。さすがにプレッシャーがかります。

四組の学校祭は、映画「我ら青春」の製作。夏休みに海岸までロケに行ったこと、制服を着て女子高生をやったやつ、アフレコを何度もやり直したこと、なかなかスリルのような

ものがあつた。学祭の当日には、空き缶で作った行灯が、何故か優秀賞を獲得したという。

図画工科的発想で賞をいただくのは、本当はいけないとも思っているのですが……。いずれにしろ、このころはかなり白熱していたみたいだ。

ところで、最近の西高は退廃しているなどと言われている。しかし、それに対していわゆる問題意識がないのが現状といえる。四組も遅刻の数は多く、日常化しつつある。中抜け欠課の類は、個人の考え方の問題とする向きもあるが、いずれにしても規律のなさが見られるのは確かだ。

今、授業はつまらないと思うのです。勉強はイヤなものだという感覚がある。発言などほとんどなく、単なる講義になりがちである。今の授業には、学を論ずるとかいわゆるアカデミックな雰囲気は見られない。結局、発展がなく、単なる知識、受験勉強といったものになりがちな部分が多い。確かに「やる時はやります」の通り、大学にも合格できるかもしれないが、それでは少し個人的になりすぎているような気がする。そういう受験勉強ではハッキリ言ってクラい。予備校ほどクリアでないにしろ、西校でも勉強が目的化している。要はそれでよしとするのかどうか。

いずれにしても、受験などにとらわれない知的なパワー、刺激がものすごく欠けている。単にだらしないだけに流れていくのでは、やはり間違っている。今年いよいよはつきりしてきた教師による管理化は、遊びだけでなく

生徒の自主性と創造性も奪うものなのだ。これを黙って受け入れるようでは、全くおかしいと思えてならない。

一人一言

まゆみちゃん、かわいいです。おけたに矢数先生のメッシュの様な白髪がすき。裕子おけちゃん、正直者で偉い人です。まゆみ理系の女子はカワイイの意味も知らない。○実は、私が一番かわいいです。MIKI●四組には、うそつきが三人いる。冷泉陸子かきちゃんとうちの広田君は友達です。あべまたJOJOに行きたいな。生田

来年は、バラ色の人生だ！ 石坂宏嗣
ぼくは、とつても良い子です。岩崎ルイズ
矢数さん背が高ければ美男子だ。つかさ
ヨノ小俣あんなの名前忘れんぜよ。片岡哲史
嫁に出来ないかー 僕のとこに 加藤 誠一
沈黙の時 鎌田英司

鋼網線の夕日は最高！一度は乗ろう！あきら早くブリリアントな午後を過ごしたい。上館
工藤です。もうマスがねえじゃねえかバカあ。「泣かせる味じゃん。」 こんどうさとし
ぼくは、ずらしたことの無い優秀生ノ斎博文
ナンバはやめよう。オーストレイリアン笹尾
○○○僕の青春は君のものだったよ。和彦

僕は西校一真じ目な青少年佐藤寛三君です。僕の欲しいもの、オランダの妻。楨樹
この前、膝を強打した。沢口哲也です。

SHYな馨君は、今日は学校を休みました。菅原秀見君ですよ、書く所がなくなつた。いつもここに鈴木くん、わしやアホか。須田裕之君です。三年四組に関することは：高橋修一です株式会社ベンゼン環をよろしくおもしろいクラスだった。さようなら 高橋浩
『ラスト一分』 高橋良則

月が出た出た月が出たアヨイヨイ。田中賢治
ご想像におまかせします……。中田昭仁

中村貴久という者です。この度はどうも。「私は誰の挑戦でも受ける。」 夏堀 雅宏

林正伸「あつ、また事故つちやつた。」
ボクは西高でジミにくらした広田敬人です。
F18ホーネットを買おう。田一真
ぼくもオランダの妻が欲しいです。長沢公
水口哲也 俺は発展途上人。のー。いえす

宮脇克弥 人はぼくを頭がかたいと言う。
無遅刻、無欠席、無ずらしの山崎暢です。
札幌西高等学校地学部万歳。山田 浩史
鎌水悦郎 勝負師はいつも時をかける少年。
湯口直也 御同輩、近頃夢を見ておられるか
以上浪人確定者のおことばでした。吉田享平

三年五組

ぼくがこのクラスに初めて入ってきたときの印象は、「なんてまじめなクラスなんだ。」と、思ったけど、どうしてどうして、みんなの気がころがしれてくると、思ったよりおもしろい奴がけっこういる。初めのうちはみんな、おとなしくしていたが、そのうち先生一人一人の特徴を見つけて、まねをするやつが現れだした。そのうちではやったものっていくつかを紹介しよう。たとえば物理のK教諭はすぐに「ごりやくがあるよ。」とか「なんだありや、なんていうんだ。」とか「ごちゃごちゃするところなるよ。」などと連発する。また化学のY教諭は「それじゃあ、やってみますか。」とか「こいつはー」とか「わからないものはかかないですよ。」とか。数学のF教諭は「あのーこれこうなるね。いいね。それじゃ次」とかが受けていた。(三年五組以外の人はこれ読んでもわけがわからないと思う。)

最近(11月中旬)になっても休み時間に勉

強をする人は少なく、トランプをしたり、だべっている人が半数以上でまるで受験のふんきがないのが特徴といえる。

それでは次にクラスの名物人間を紹介しよう。まずやえがしくんとひしかわくん。この二人は授業中先生が誰かをあてようとする時、男子の一部の者に「やえあし」とか、「ぜんまる」とかいわれてしまう。またささきくんはいつも授業中ねていて、誰かが(例えば長屋君など)がつまらないことをいうと、突然おきて「はあー?」というときもまねをする。次に斉藤公一君を紹介しよう。彼は「王ー」とか「尿ー」とか呼ばれていて、いつもあくびをしている。そしてすぐに「はらへったあ」とか「つまんねえ」とか「とんでもねえ」とかいい、バカにされたときは「ちくしょお」という。また、彼は貧乏ゆすりが得意で両足で貧乏ゆすりをし、それがカバンにすれて、虫がいないような音をだす。最後にごとうくん。彼は授業中くしゃみやがしたくなるがまんしようとして「んっ」となる。そしてみんなの笑いをさそう。このようにわけのわからないクラスが五組だ。すご

PS笑いの似合うとんでもないクラスでした。

一人一言

雪が降ったら私を思い出して……。雨宮千夏
「自由の女神」とはボク的事ノ 庄司しのぶ
屯田ブリザードに負けないよ。 中添昌代
手稲おろしに負けないよ。 山道茂美
岬たろー君きみは何てかあいの 渡辺雅子
巨人がなんだ、一番強いのは広島だ 赤木将之
手稲よいとこ一度はおいで 飯沼真治
アンヌ実は僕ウルトラセブンなんだ 伊藤嘉朗
LINDAをUNSTANしよう※勝木修二
はーよいよい 陽気な毎日です 河内 亮
雷霆の如く光の天使ルシファーは蘇る 川口裕樹
「馬」はおもしろい。君とったね。 川村隆志
LOVE/LOVELY 聖子ノ 榊引理伸
今川は暗いノまた一人殺してやる。 工藤 聡
こんばんは。 司会の小西淳です。 小西 淳
毎日少しずつ底の方へ近づいてゆく後藤 研
今日もゴハンがおいしいぜ。!! 斉藤公一
実は私は秘密工作員一〇三号です 斉藤 敏
王ー、貧乏ゆすりはやめなさい。 佐々木亨
主水、受験にうんざりするノ 佐藤克巳
さとうたかします。あましではない 佐藤天視
私はライブマシーンが好きだ。 篠原盟人
あのねぼくね。冗談じゃねえよ全く 新谷 学

やってみますか。

杉崎裕吾

ヒス君、私は戦争をしているのだ。

須藤裕司

北海道江別市大麻一六四一四四

龍本智也

学問の出発点は自己啓発

土川真志

ヤマトの諸君また会えて光栄だ。

渡並 智

同じ流れに足を入れることはできぬ

中川和一

世界的視野で新世紀を迎えよう

中村 敬

認めたくないものだな若き故の誤ち

長屋幸秀

トッピンバラリのフツ!!

バナティ西出

あなたは男と女どちらがいいノウフツ

丹羽茂之

スペインの雨は主に平野に降る

浜田龍次

はいノ波動砲でコロナをうちます

久井研司

菱川君曰く「身から出たさび」立直

菱川善文

細田君曰く「身から出たかび」一発

細田俊也

増田君曰く「身から出たくそ」自摸

増田和敬

三浦君曰く「身から出たガキ」平和

三浦英樹

数学のFです。いつもすいません。

向谷竜介

屯田兵こそが、本当の英雄だ!!

八重樫直人

我が家は農地改革の犠牲者だ。

山岸昭男

いつもの5分

横田光弘

攻撃やめー。とどめは私がさす。

吉本 尚

ねえ!!どこの大学行くの?

依藤智之

イヤン、イヤンも好きのうち

若松 孝

五十音順じゃないノ僕は転校生だ。

岡田卓也

三年六組

さて、ただ今、五時間目の日本史の時間であるのだが、ここで貴重な内職の時間をつぶして、わがクラスの授業風景について記すことにしよう。

まず、私の後ろの席にいる毛綱君は、何やらマジメに政経の勉強に励んでいるようである。これは、あまりおもしろくないので、次に私の右隣りの人に話題を変えてみよう。おっとこれは、背の高い所が非常に魅力的な武石さんである。こちらは、授業を聞かずに、日本史の勉強をしているようである。先生を無視するとは、何という生徒であろうか。ちなみに、私の席は一番前である。

それはさておき、次の後ろの方の様子をさぐってみよう。廊下側の一番後ろは、いいますと、何やら暗い雰囲気が漂っているようだが、おっと、これは影の薄い伊藤君である。おっと、これはまたまたびつくり。ナント、授業を聞いているではないか。彼は、わがクラスとしては、非常に変わった存在であると

いうことが、一目瞭然であることは言うまでもないと思う。

以上、数人の例からもわかるように、どこにでもありふれたクラスであることがおわかりいただけたと思う。しかし、しかしです、一つだけ、他のクラスにはない、唯一の特徴があるのです。それは、言わずと知れた、「独身の小侯です。」

一人一言

- いつも青春はリングをかける 中村公哉
- 誠実は最後の勝利なり。 白井祐二
- 15字以内じゃ俳句も書けないヨ 大井 裕
- 30才になったら何か書ける。 飯田雄大
- オレは知っている平賀の弱点を。 増田幸広
- 僕の人生は幼稚園から狂った。 平賀規嗣
- 立花先生なんてデツキレイダノ 白濁光男
- 光男君と西陵のノンちゃんは○○だ 根本佳和
- みんなで礼文島へ行こうねッ 北村直子
- みんなで大自然を愛しましょう。 佐々木守
- 右手にシャンプを心にギャップを 能林弘治
- 信念をもつ勇氣こそ人間の本質だノ 伊藤雅敏
- ④先生の奥さん見て卒業したかった 鎌田摩樹
- 数学もみんなで眠れば恐くないノ 池田憲昭
- しあわせは白いTシャツ 柴野智樹

唯一人ノ三年間④先生担任でした
先生の車の運転はこわかった!!
オリバーとは哀しき創造物なり
あいうえおかきくけこさしすせそ
今度会うときもやっぱり独身の小俣
RSターボで、女ひっかけようノ
ハッハッハッ バーカーノ
Don't make me feel so guilty.
本土決戦一億玉碎!
朕を離れて国家はない。
平賀は弱い ゆえに我あり
汝の未来を見つめよ!
自分のがけは自分次第です。
科学者として確信もないことは:
白いサニーにはもう乗らない
代ゼミで会いましょう。

宇井久仁子
大阪康博
星川洋志
戸梶慎一
野村慶一
増田将人
佐藤和広
草野 剛
新谷雅史
菅原紀彦
追越隆則
川口研治
武石美樹
松田晃一
井田圭介
萩野章良
毛綱昌弘
永井真理
村上幸子
岩佐秀明
紺合精一
山岸勝己
北村利哉
安藤徳亮
田藤俊樹

ズラしたら罰掃除が君を待つ
一億総火の玉!
俺の青春に悔いはないノ
大きい「ナニ」ってどんな「ナニ」ノ
万物の根源は水ではなくこの私
So help me God!
決めてやる!今夜。
ひとめ小俣先生の新郎姿を見たかった。それよりも、新妻を見たかった。さもすれば暗い性格も、数学の時間一立たされることもなくなるだろうに。あのどくとくのいやみな声で名をよばれると背すじが凍る。
ああ、このままでは大学すべる。
新妻や、思いをこめて、代ゼミ隊ノ「安」

中西勝也
紀国 洋
和田義行
河井基博
浜谷啓史
野田敬一
土方敬久

三年七組

事すると頭痛くなるんだもん。赤川タカミ
つらくて、長い文化通でした。でも、私は
耐えました。 国鉄バス利用者♥K E I
ぎぶ・みいーチユーイングガム!!加藤奈緒美
よの中に絶えて寒さのなかりせば西高生はの
どけからまし……きつとノ 木村比早子
うんと長生きして五〇年後の同窓会楽しみに
まつてます。何人生きてるかナ!熊谷志津香
しつかりしてかわゆいお嫁さんに、ぜーった
いなるんだもん!だめカナ 桑田真奈美
てんでんぶらかまぼこは、大根おろしと
おしようゆがあつちゃうんだいノ 小杉綾子
かわいいかわいい魚屋さん、ままごと遊びの
魚屋さん、こんちはお魚いかがです 小林直子
らんらんらん…… プロレスは男のロマン
だ!! 桜庭由佳子
もそもそする・あめる・みみこ・くまる・よ
つこいしよ……くまちゃん語録 たろう
ずる休みのこと、ズラシって言うんでしょ。
私、知らなかった…。 SAKABE
つつがなく過ごせるはずの三年間……ひと
ことなんかで言えないもんねノ 塩谷幸子
ときをかける少女になってあの頃に戻れたら
私はきつと……やっぱりこわい! 滝谷美智子
なかはたきよしは絶好調ノなかはた万才ノブ

ばくたちのクラスはいつもはふつうのクラスですが、いざとなると一致団結していっしようけんめいやるクラスです。 —おわり—
一人一言
そんな事いわれてもわかんない。だつて考え

ラボーナかはた。

津田晶子

かなしい事があると聞く皮の表紙、卒業写真のあの人は、優しい目をしてる♥ 土肥明美よる：月明かりの中に浮かび上がったその姿

おおっヤンバルクイナ!! 美智子妃殿下しろいねこ↓バタカップ↓あゆみちゃん↓

太一郎さん↓素子さあーん♥ 畠山美奈子

できることなら素敵な旦那様に恵まれてーそうしたらみんなに見せてあげる!! 日比野文

いいかげんにあきらめたらら……。AKKOには一生結婚は無理なのよ!? ☆SEIKO

よりこ・よしえ・よしこ・よいこ・よねこ・ようこようこ私はようこだノハハ 水谷容子

うっとりするような音楽を聞いて、おいしいお菓子を食べて結局、二重アゴノみゆき♥

ねえねえ成子、まだ食べるのお?私もうおなかいっぱいノもう1個だけね♥AKIKO

一瞬口唇のまわりが白っぽくなつてほおにグリグリができた。 伊藤聡俊

Rの時間に当たった。そのときシャブが切れた。だれかシャブを安く売ってくれ。岡田智英

モシモシ日本が弱ケレバソ連ガタチマチ攻メテ来ル家ハ焼ケ畑ハコルホーズ君知ノ哉 小野寺

GALといえる彼女、僕のベタバタのセリカで石狩のゼロヨンみにいこう。 景浦周治

僕は大きくなつたら、フラワードンシングチームの特攻隊長になりたいです。木戸口昌己なんて短い高校生活だろう。 小坂三津夫

僕は社長令息です。僕と結婚して玉の輿に乗りましょう!! 小林寿緒

迫るメ切、まだ書けない。次の瞬間、ぼくはミクロ散弾銃を持ち廊下を走っていた。マブ

恋人よ、ずっとそばにいて。君の他には何もしらない。君は永遠に素顔のままです。☆きんこ

倒せ!火をはく大怪獣!! あの時のヒーローは今どこに? 関原直樹

西高からプロレスの灯を消すなノFWFに続けノFWF後継者、募集中。 高橋伯郎

生きるってことは一夜限りの「One Night Show」よ 津崎 康

娘にデートに誘われるようなパパ、息子には自由放任な親父になりたい。 長井秀和

誰か、俺の青春知りませんか 思い出のない高校生活に乾杯 中瀬範史

見つめる瞳があれば言葉はいらない……まり 恋心 粉雪のように 舞い踊る 中村一也

所謂、常に、ぼちちうと言うか、あくちうなえぐちすとわんすでありたいの……:広田至夫

いわゆる脳天を鈍器で殴られた様なスウィサイダルな気分を味わいたい♥ 増田政己

人は、いくたびの別れと出会いをくり返しながら成長していく……うんしういぜ 南出孝志

あしが見えた。 八鍬敬之

歴史が人を動かすのは事実である。だが人が歴史を産み出すのも事実である。 和田政仁

三年八組

三年八組 トシ男伝

ある高校にズーゾー弁を日常語とする国語教師がいた。猫を三匹飼っていた。(石尾)

彼曰く、「Take time by the forelock. She is bald behind.」(泉)

彼の名はトシ男。屈折した青春を送り、国語の指導に命を賭けている男だ。(伊藤)

ある日の現国の時間。彼は、自分の過去について、突然話し出したのだった。(大迫)

と、そこで彼の口を封じたものがあつた。関篤彦の奇声であつた。「あのーっ。」(大森)

しかし、トシ男は無視した。彼は目に涙を溜め、ズーゾー弁で続けた。「うるさいノ」

トシ男はその昔、ひそかに、アイドル歌手

を指摘していたのであった。(鹿野)

しかし、彼には大きな障害があった。生まれつき治らない、あのズーゾー弁だ。(佐々木) それでも彼は自信があった。彼には弱点をカバーして余りある美貌があった。(佐藤す)

「これ、その女子。」彼に呼ばれた女生徒は皆うつとりするのだった。(Elle)

その時、トシ男は突然歌い出した。「若く明るい歌声に……。」そう、青い山脈だった。⑥

「先生、かおりちゃんかわいいでーす。私、頭なんて全然大きくないよね。」(かおり)

「私に比べるとずっと小さいよ。先生、歌手になったら私の店でも歌ってね。」(あゆみ)

トシ男は「歌」の他にも趣味があった。彼は「庭いじり」が大好きだった。(中泉)

春の日溜の中、トシ男は庭をいじりながら、つい、眠りこけてしまった。(リッチ桐)

「黄河の河岸でお月見しながら、パンダと晩酌を……トシ男はそんな夢を見た。(イマイ)

トシ男はそれ以来、家へ帰ると人民服、彼の生活は、中国一色に染まった。(一ドウ)

特にパンダが好きで、夜な夜な近所の犬に、白黒のペンキを塗る趣味ができた。(打矢)

しかし、彼は、それでも飽きたらず、本物のパンダを手に入れようと決心した。(大竹)

ある日、トシ男は上野動物園の塀に爆弾を

しかけ、パンダを盗もうとしたが、その爆弾の為にパンダも死んでしまった。獄中生活八年。パンダの思いは募る一方。(あつし)

出所後、再び犬遊びの最中。突然、地震が起こり、彼は地割れの中へ。(加藤)

気が付くと辺りは闇。一筋の光と共に観音様が「犬をいじめたら、いかんのん。」(小池)

観音様は激怒したが、トシ男は、得意の理屈を並べ、決して謝らなかつた。(上田顔大)

「田舎モンならば天誅じゃ。」と、観音様はトシ男に殴りかかった。(関篤彦)

……「はっ。」と気が付くと、そこは彼の自宅だった。全て夢だったのだ。(トリイ)

それ以来、彼は犬遊びをやめたが、今度はパンダのぬいぐるみを愛玩した。(中藤)

しまいは、「自分がパンダになろう。いやなつてやるぞ。」と決心したのであった。(平谷)

早速、彼は靴屋に出かけ、店じゅうの靴ズミを買ひあさつたのであった。(睦子)

散々、体に靴ズミを塗つた後、それが非常にばかっていることに気付いた。(西本)

すぐに風呂に入ったが、スミは落ちず、黒い日本人として見せ物になった。(田中の妹)

トシ男は、何故あのような行動をとつたの

かを悔やむ毎日を送つたのだつた。(東)

A bird in the hand is worth to the bush. トシ男は慰みに英語を猛勉強した。(Mizu)

……そこまで話したトシ男の目は、あるものために、怒りの目に変つた。(典)

「中死魔、起きなさい。」「……………」

「なんですかその眼は。」「……。」(中島)

中死魔は居眠りをしていて。トシ男の頬を一筋の涙が伝つた。(慎原将樹)

しかし、彼は、それを心の汗として、決してぬぐわなかつた。(久代)

「久保田早紀とはどこの誰ですか。」と聞くほど流行にとらわれぬ頑固物だった。(山下)

「人間の本性とは、どんなにメッキをしても隠すことはできないのです。」(みぎわ)

そう言つた彼の姿は、屈折した青春をすこす前のトシ男その物だった。(けいこ)

僕達は、猛烈に感動した。中死魔の居眠りがトシ男を本来の姿に戻したので。(菊地)

そしてポツリわけもなくこうつぶやくのだつた。「なぜかわいいですねえ。程度が低いですねえ。文系だというのに。」(オレだ)

そして今日もトシオは国語教師でありながら得意の英語で説教をはじめるのだった。(畠山)

三年九組

わが三年九組は、実にすばらしいクラスである。それはだれもが認めることであり、我々もそのすばらしさを自負している。まず、我々三年九組の他の学級との異いは朝のHRに表れる。先生が出欠をとるために学級に入ってくる時間、すなわちほぼ8時30分には、すでに全員が席についており一時間の授業の予習の復習に余念がない。しかし一度、朝のHRが始まると、皆、先生の話に聞耳をたて、少しでも自分の知識にしようとして闘いが始まる。先生の話の後には、わずかな時間だが、全員による討論会がある。みんな学級を立派にしようと思つて必至である。一人として「空手バカ一代」などを読んでいる人はいない。この意義ある討論会は、時にはLHRでも行われる。他の学級のように外で遊んだり、ゲーム等をするのはめつたにない。ましてや「自由時間」などにした事など一度もない。この討論会を行う時には必ず、今、最も世の中をさわがしている事柄を何か一つ題材に

上げる。題材が決まると、議長の間間君が教壇に立ち会を進める。彼の会の進め方はまさに巧妙であり、決して錯雑のうちにおわつてしまふ事などありえない。

学級の全員が我先と自分のすばらしい意見を述べるが、特にその中で非凡さをいかななく發揮しているのが、あの鈴木基丈君である。彼の意見は実に簡潔であり、それでいてその内容はまるで我々の心をすべて悟っているかのようにするどくきびしい。彼と討論において闘うことは無謀であり、結果は明らかにわかつている。しかし、たとえ彼に討論で負けたとしても、悔やしさを怒り等はまったくなく後に残るものを言えば、そお、あの何とも言えないすがすがしさのみである。

しかし、このすばらしい討論会をこの場だけで終らせないのが我々の良さである。

この会における我々の態度は授業中に生きている。これは、この場をかりて細かく述べよるよりは、少しでも我々のような学級にしたかと思つている代表が、我々の教科担当に聞いてもらう事が最良の策だと思ふ。

それでも納得がいかない場合は、二週間は一見に如かず」ということわざ通りに是非一度授業をさばつて見に来てもらいたい。

一人一言

早起きはねむいだけ
あーあ つかれたなア………ノ
石沢 山内

いつでも相談にのります。三二八六六
矢野 田宮

親身の指導、代々木ゼミ
松野 松野

札予備が一番
地元桑園代表山本
五巡目聴牌の面混一盃口なせあがれんノ
柳川 木村

めしゆつくりくつて今日も健康一番ノ
力たる知を学べノ
外城 外城

継続は無力なり
代々木で待つ！
いーたうまくわまくわ
いーとおまきやまきや
マルシヌ 村上

引いて 引いて
とわん とわん とわん
松田のるみ 啓介

食べたいノでもやせたい 過脂人間 まさる
私、暗い部屋の隅で新聞よんでいます もんま
外館 外館

♪あんあん♥あUNパランス♥♪ はりまお
何ごとにも押忍の精神だノ

極真会平取支部長寺本四段
力の伴わざる正義は無力なり
久米 久米

毎日がねむたい日々だった。 (今川)
輔仁会の皆さんNBBSにおめぐみを(大杉)

一人一行書くそうです。名前を書いて。小松顔のでかいのどが悪い!!

ケージ

やあこんにちは、それじゃども

鈴木

へヴィーメダルロックバンド パワーエイジ

好きな事書かせてくれないうんだもん!!

みんな医者信じるなよなっ寺本っ

ピビアン・リーはきれいだと思ふ。 理絵子

麻雀の技術を磨こうノ強欲のO型盛川でした

麻雀がうまくなりたい 小山

今一番面白いのは「フクちゃん」だ!! 齊藤

……俺は悪くない あちわ

うーん何を書くか……困った。 川上

私は「ドラえもん」が好きです。 西田

私はアタックNo1の歌を3番まで歌える 村子

水曜日は「うる星やつら」を見よう。 晶子

あーよかった よかった。虚弱体質の上条

出席番号13へ……でかい顔すんな!! byたばてー

シビュア島の仲間たちもおもしろいよ 裕子

ないうちっ、MY・HEART! 佳子

A BOY MEETS A GIRL 美穂

お星様の……バカ……。それも青春!! 本間

極真空手は、うしろを見せない 雅彦

三年十組

昨年四月、このクラスに入った時、しまつたと思つた。「な、なんだ、このメンバーは、」ぼくの将来に黒い雨雲がたちこめていた。やはり、予想は的中し、思いきり悪の道にひきずりこまれたのである。

でもまあ、とても楽しいクラスだった。が授業中のうるささと言つたらなかつた。空中に絶えず輪ゴムが飛び、マツチをする者さえいるありさまである。特に現国なんて、まるで座談会のように、時には、たばこを吸う奴までいたのだ。(それは誇大か?)

当然ながら、ずらしも多く、全員出席なんてテスト中ぐらいなものだった。それもそのはず、このマジな僕が、せっかく朝、校門まで来たのに、前方から小柄なF君がタックルしてきて、こうささやくのだった。

「ミルキー、行くべ、」

こうして単位が減っていくのである。しかし後で、「お前もずらしたかつたんだべ。」と言われると、何も言えなくなる自分が、あま

りにも、けなげであつた。

それに加え、みんなの生活態度も、どろ沼で、S君なんて、萬にたばこを二回もバクツたそうだ。M君は、バイクのMとまで呼ばれたタマだが、先日事故り、今ではただの人である。その他、土足常習犯F君、Y談ならまかせなさいのH君、太陽電池の長さん、女子の水泳をしつこくのぞくU君の後ろ姿まで知つてたら、あなたはもう通の仲間入り!

また十八にして、中年の哀愁を漂わせるD君、一人で日本の高校生平均身長を二センチもあげたヤツ、R君。そしてこの騒々しいメンツの中で地味に囲碁で優勝したSさんを知っていたら、あなたは相当この道長いだろう。おっとRZのK君も、見逃せないぜ。あと、MBXでケガしたNA君、シブがき隊のテンポを一人でずらしたT君、あごがはずれたGちゃんなど、これだけ豪華なメンバーがそろえば、しし子もささかし満足した一年であつただろう。

一人一言

むかしむかし あるところに やす子
おじいさんは いきなり海に はこ
すると おばあさんもいいました みか

おじいさんと おばあさんが
いいました。君は海だね。
とびこもうとしました！そのとき
こしに手を回しました。

I LOVE PORK、
おじいさんは おばあさんの
めでたし めでたし。

おばあさんは 叫びました
「あなたは ふねよ」

港で寄りそってすわっていました
二人はいつしか年を忘れていました

WE LOVE SHISHIKO、
そしておじいさんがおばあさんに

I AM PORK、
俺はPORKだ！

俺はハリキリボーイ・・・
どうでもいい

自転車のどこが悪いんだノアホ
TIME FLIES

I LOVE MAYUMI 意見はない！！
RZのバ神田といえはおれしかないぜ！！

僕は天皇制が不定積分の段々畑ではーいはい
I LOVE LibertyBall、

8ビートに4ビートで屯田最高一度はおいで
平和の為に昨日は赤くなるのが賢明と読もう

おだ

よしみ
にれ子

かすみ
あっこ

あけみ
ひろみ

ともみ
ちあき

みどり
かっこ

みわこ
ちはる

いちたよしひろ
内田ドエース

大竹英志
大野

I AM BROKEN KIDS、

また蝶屋にもどる日が来たのかなあ？
In Right On Time、

○好きやねん！西高
紀伊国や、りいぶるなには、きこうどう
あと10億年は生きるぞ！

I♥観世 マスター大好き水もうまい
たいした問題じゃない

タコ2級、苦学生成田どす。
ぶかぶか、ごくごく、やめました！

Let's go 離世 together
観世FOREVER、♥小林麻美

西野の暴走狼 妃狼死ヨロシクノ俺はイモだ
SHAKAMAN'S COMPLEX

ハスラー命ノおれのGPかえしてくれ
私？ もちろんプロレスの味方です！

僕は観世にいったことはありません
ぼくは転校生です。渡辺といえますよろしく

長いようで短かった4年間！誰でしょう？
私、薬師丸博子です。このクラスにいたのよ。

仙石

高木
T・高橋

俺は久郷

長岡
長門

にしみ

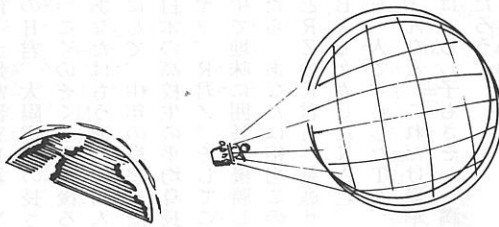
せんり

船幸

松尾

山木

横血



編集後記

札西高の機関誌「雪焰」^{せつえん}の創刊号が完成しました。完成と言っても、内容は大了したものにならなかったことは認めます。予定していた特集も、結局出来ませんでしたし、HRその他の原稿依頼にしても、手際よく出来ませんでした。

機関誌編集委員会は、来年度施工される改正会則からは常設委員会として活動します。(今年度は臨時委員会として活動して来ました。)そのため、今年度は、来年度以降の準備をし、来年度から発行すればよいという意見もありました。しかし、今年度発行していただいた方が、来年度以降発行しやすいことなどから、今年度発行することになりました。

以上の経過で編集委員は活動して来ましたが、手順その他わかる人がいなくて、同じことを何度も繰り返ししたり、その他いろいろ大変なことがあります。他校の機関誌を読み比べたりしながらページ数初め百ページと決めたのですが、臨時委員会のため予算がなく、

結局約八十ページとなり、発行部数もぎりぎりに抑えました。そのあと、内容を決めていき、なんとか発行までこぎ着けました。

編集委員として、あまり自慢できる内容にはなりませんでしたが、みなさんはどんな感想をもったでしょうか。どんな感想でも、生徒会の方へ言って来てください。来年度の機関誌が良くなるためにも。

機関誌編集委員名

委員長	川橋 全人	一年
副委員長	堂守 浩昭	一年
書記	中村 公乃	一年
會計	横井 玲子	一年

伊藤 幹男	一年
中川 伸一	一年
齊藤 健一	一年
皆川 和恵	一年
今井 旬	一年
藤島 俊一	一年
山口 宗兼	二年
堀口 信	二年
草野 聡	二年
吉雄 孝紀	二年
岡田 幸宏	二年
諸沢 良浩	二年
佐々木 勇人	二年
小林 修三	二年
長田 篤敏	二年
国谷 尊之	二年
高杉 学志	一年

協力

鑑 査 報 告

本誌の編集方針は、北海道の文化の発展を促進し、
 教育の向上に資することを目的として、
 学術的・教育的・文化的な内容を主として採り、
 読者の理解を容易にするよう努めることとする。

雪 焰 創刊号

昭和59年 3月10日発行

発行 北海道札幌西高等学校生徒会
 編集 同機関紙編集委員会
 印刷 (株)須田製版

北海道札幌西高等学校



1984

北海道札幌西高等学校生徒会